

活動報告

団体名	ピースボート災害支援センター
活動名	台風 15 号被災者のための炊き出し活動
活動期間	2022/09/27~2022/10/31
活動の成果	<p>▼炊き出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：葵区（4 か所） ・回数：8 回 ・提供食数：480 食 <p>当初は断水地域を対象として支援先地域を検討していたため、実施地域が決まらず発災から数日経っての支援となった。葵区では、支援や報道取材が全くない状況の中、温かく栄養のある食事を住民へ届けることができ、「見捨てられていると思った」と涙を流して受け取られる住民の姿も見られた。</p> <p>炊き出し支援の継続を希望する声があったが、緊急的な支援だったことや、コロナ禍でボランティアの募集ができなかったことなどから、炊き出し支援の継続は難しく、住民の期待に応えられなかったことが課題。</p> <p>▼サロン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：葵区（4 か所）、清水区（1 か所） ・回数：18 回 ・参加者数：延べ 471 人 <p>開始当初はサロンへの参加や物資の受取りを遠慮される方が多くいたが、回数を重ねるうちに様々な方に参加していただけるようになった。さらに、自治会長の協力もあり子供会との共催で季節のイベントを行うなど、地域活動の促進にも寄与することができた。</p> <p>開催地域については、災害ボランティアセンターとの調整で決定していたが、実施場所や各自治会との調整に時間がかかり支援実施が遅れてしまう地域があった。</p> <p>共通して、県域で開催されていた情報共有会議で共有されるテーマが家屋保全に集中し、食事や情報に関するニーズが共有されず、結果的に炊き出しやサロンなどの重要性やそこから見える課題が全体に認知されなかった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>台風 15 号により静岡市では、近年の大規模災害に匹敵するような大きな被害が発生しました。一方で、被災に関する報道は少ないため、支援が集まりにくい状況が続いたほか、静岡市内でも被災地域を離れると被災した世帯がどのような状況にあるのか知らない人もいました。</p> <p>そのような状況下で助けも呼べずに、今後の生活の見通しもつかず大きな不安を抱えながら被害を受けた自宅の片付けをしていた被災者にとって、炊き出しやサロン、物資支援はその場で食事や必要な情報・ものを得られることだけでなく、その活動を支えている多くのみなさまから「私たちは忘れられていない」「見捨てられたわけじゃないんだ」という大きな力になりました。</p>

現地での支援活動を支えるみなさまへの感謝の言葉や、いまだ大変な状況が続く中で、今度は自分がみなさまのように支えたいとおっしゃる方もいらっしゃいました。

サロンのようなコミュニティ支援は、被災者の困りごとを把握したり、災害関連死を防ぐために非常に重要な活動です。災害ボランティアセンターや様々な支援者と連携することで、支援の漏れやムラを減らすことにもつながります。しかし、災害支援＝家屋清掃や炊き出しなどのイメージが強く、地域のコミュニティ支援がおろそかになってしまうこともあります。こうした活動に助成いただけることで、地域の日も早い復旧・復興を後押しすることができます。

今回もご支援いただきありがとうございます。これからも、被災者の声を丁寧に聞きながら、支援者のみなさまの気持ちを届けることができるよう、尽力していきます。今後のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(活動のようす)



